

チュチェ思想研究の一年

アイルランド・チュチェ思想研究会会長

わたしはこの席で去る一年間、チュチェ思想を研究する過程に得た教訓と経験について述べようと思います。

チュチェ思想にたいする研究を決心する前にわたしは一つの科学として社会主義が共和国でどのように具現され、共和国がどのようにいわゆる「世界列強」と自称する国々と堂々と立ち向かいながら団結力と自力更生の強い国に発展してきたかについて考えながら、いつも朝鮮民主主義人民共和国の崇拜者となってきました。

チュチェ思想はわたしにとって、人間は自分の行動と選択を通じて自己の運命の主人であることを自覚するようになると教えてくれた革命的な人生観です。

チュチェ思想はまた、私に人間として直面したいかなる障害も克服し粉碎するように教えました。

わたしはチュチェ思想こそ、全世界がおかげをこうむることのできる、生活方式の進歩的な形態であることを感じるようになりました。チュチェ思想はどこでも具現することができるといえます。例えばルーマニア、フランス、ドイツをはじめとした国々の人民大衆はチュチェ思想を自分たちの現在の条件に具現することができるでしょう。世界が進歩的な生活様式をもった世界に変わりつつあると見ることができます。なぜなら、どの国にチュチェ思想を具現してもチュチェ思想は人々を一つの目的、一つの希望、一つの理想をもった人々に団結させて老若男女を問わず、社会のすべての構成員を包摂する社会を創造するからです。進歩的な社会にはすべての人に、自分のポストがあります。

わたしは人民大衆とは、われわれが暮らす限りのない情熱の資源を創造し、宇宙に存在するいかなる対象よりもっと強い団結を創造し、革命と建設で役割を果たしうる意志をもった国の主人であることを知るようになりました。

昨年、世界は急速に変わりました。われわれは特にアイルランド、イギリスを始めとしたヨーロッパ諸国でファシズムが台頭したことを目撃しました。これらの国では人々を互いに対立させ、社会主義を主張する人々に対して敵対的な環境をつくりながら、大多数の人々に害を及ぼしました。

チュチェ思想は団結がすべての進歩的人民がより良い社会で暮らすようにする武器であり、秘訣であると解明しました。

チュチェ思想にたいする研究でわたしに深い印象を残した重要な出来事は、金日成主席が自国の革命は自国人民が主人となって自力でおこなわなければならないと指摘した卡倫会議でした。主席は科学的見地でそれを研究し考察して朝鮮革命を行い始め、勝利へと導きました。

2021年1月5日から12日まで朝鮮労働党は第8回大会を召集しました。大会期間、金正恩同志は朝鮮労働党の総書記として推戴されました。

金正恩総書記は閉会の辞で、偉大な金日成・金正日主義を百戦百勝の旗印として高く掲げた朝鮮労働党が革命と建設を正しく導いており、党と人民大衆の一心団結の不敗の威力がある以上、朝鮮革命はいかなる困難も乗り越えて力強く前進するだろうと述べました。

わたしはチュチェ思想について、チュチェ思想がわたしに与えた感化力について嬉しい気持ちをもって話しました。チュチェ思想について関心をもっており、このような立派で進歩的な生活方式について知りたがる人たちに言いたいです。読んでまた読め！

金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の著作は人々が自分の境遇を変化させてより良い生活を営むようにする闘争で絶対的に必要なものです。

金日成主席と金正日総書記が教えているように、そして今日は金正恩総書記が述べているように、チュチェ思想は進歩的人民の前途を示しています。悪性伝染病が蔓延する中でも朝鮮民主主義人民共和国はチュチェ思想と団結でもって引き続き前進してきました。